



優良血統を次世代へつなぐ

今月の
表紙

ふじ むら
藤村 ゆき
有希さん (39)

盛岡市黒川で両親と共に、黒毛和種の繁殖農家を営む藤村有希さんは、繁殖牛12頭と育成牛1頭を飼養しています。高校を卒業後、岩手県立農業高等学校で畜産を専攻。在学中には、人工授精師や受精卵移植師の資格を取得し、牛の繁殖に関する専門的な知識と技術を身につけました。有希さんは「優秀な先生方に恵まれたことは間違いない私自身の転機になりました」と力強く語ります。

日頃、有希さんは人工授精や分娩介助など、主に牛の繁殖と交代で牛舎を見回ります。飼養頭数が多くない分、一頭一頭の特徴を把握できていることが強みです」と笑顔を見せ有希さん。また、分娩が近づくと、昼夜を問わず、両親と交代で牛舎を見回ります。

一人ひとりの思いをカタチに
食農立国
JAいわて中央

『食農立国』とは、JAいわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。JAいわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切にし、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。



今年初の子牛市場に出荷した有希さん。「子牛を無事に市場に出荷できたときと、取引価格が高くなったときにやりがいを感じる」と話す有希さん。「あとは、牛がやっぱり可愛い」とにっこり



出荷を控えた子牛には、状態にあわせて濃厚飼料や乾草・ワラなどの粗飼料をバランスよく給与します。出荷1、2ヵ月前からは毎日欠かさずブラッシングを行い、「子牛も気持ちよさそうにしていますし、市場でも穏やかに過ごしてくれます」と話す有希さん。日頃から触れ合いを重ねることで、子牛のストレス軽減にもつながっています

目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
藤村 有希さん(盛岡市)	
特集	4
未来へつなぐバトン	
前編 事業承継	
NewsFile	8
1年の活発な取引願って初市式	
和牛子牛市場初セリ 他	
當農情報	10
JAIいわてグループ農政フォーラムを開催 他	
女性部レポート	12
食べてみて！おらほのイチオシ	
まちのスマイル	13
シリーズ「協同組合」を考える	
サン・フレッシュ都南さ おでってくなんせ！	
インフォメーション	14
金融窓口での通帳コメント入力サービス終了の お知らせ 他	
今月のレシピ	16
ニラチヂミ(韓国風お好み焼き)	

多くは自然分娩で進みますが、分娩時には必ず立ち合い、牛の様子を見ながらサポートするのが藤村家の方針です。「手をかけすぎだと思われるかもしれないが、すべての命を大切にしたいと思っています」と有希さんは話します。

また、牛の品質は、日々の飼養管理だけでなく、血統にも大きく左右されます。有希さんは、岩手県の事業を活用し、牛の能力をDNAから予測する「ゲノム育種価」の解析を2年連続で実施。この方

効率よく産出できることは、

有希さんは「子牛の販売価

法では、生まれてすぐの段階で将来の能力を把握でき、どの牛を繁殖に活かすかという計画的な判断が可能になります。成長や肉質などの能力の高い雌牛から優秀な後継牛を

す。成長や肉質などの能力の高い雌牛から優秀な後継牛を

経営上の大きなメリットです。「牛の能力を把握できたことで、繁殖管理への意欲が高ま

り、優秀な子牛を出荷できる

という自信にもつながりました」と振り返る有希さんは「数年前までは、交配する種牛の選択は母に任せきりでしたが、

最近は私自身も勉強しながら知識を広げています。学んだ

ことが繁殖成績につながると本当に楽しくて、今はとても充実しています」と笑顔を見

ます。

で、繁殖管理への意欲が高ま

り、優秀な子牛を出荷できる

最近は私自身も勉強しながら知識を広げています。学んだ

こと、血統を残していくたい」と目標を語りながら「今後は行政やJJAなどの関係機関と

有希さんは「子牛の販売価格につながるよう、市場性のある血統を残していくたい」と目標を語りながら「今後は行政やJJAなどの関係機関と

生産者が一体となつて、岩手の畜産を守っていくことが大切だと思います」と地域全体の発展を見据えています。



JAIいわて中央のホームページでは、広報誌のバックナンバーを公開しています。

詳しくはこちら▶



未来へつなぐバトン

前編

事業承継

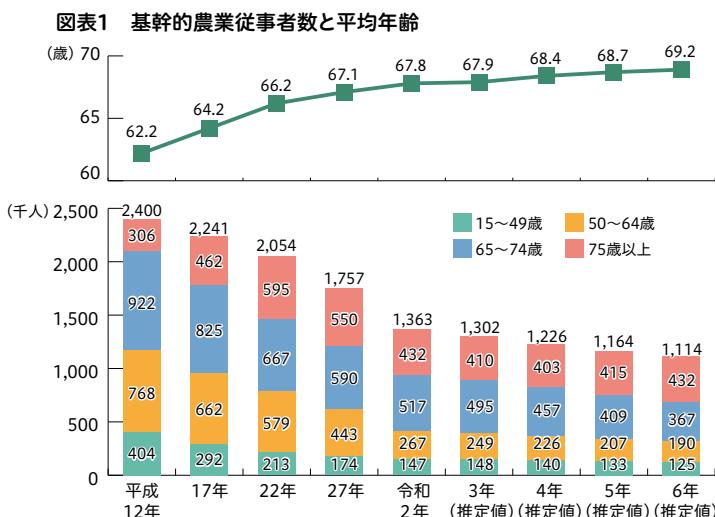
国内農業をとりまく環境

国内の農業は、基幹的農業従事者数がおよそ20年で半減し、約7割を65歳以上が占めるなど、急速な高齢化に直面しています。さらに、今後5年以内に農業経営を引き継ぐ後継者を確保している経営体は全体のわずか3割未満にとどまるなど、後継者不足も深刻です。こうした状況は、管内でも例外ではなく、地域の農業生産基盤を守るために「事業承継」に向けた取り組みが重要な課題の一つとなっています。

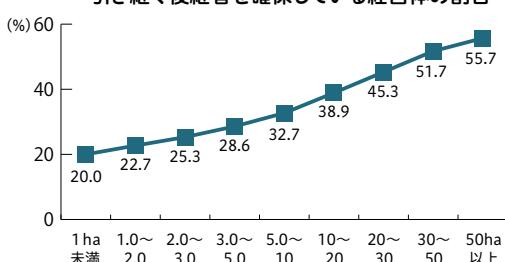
高齢化や後継者不足が進む中で、「農業経営や財産を次世代にどうつなぐか」は重要なテーマです。本特集では、今月号と来月号にわたり、農業経営の引き継ぎと、将来を見据えた備えについて整理していきます。

今月号では、家族経営における「事業承継」の考え方や具体的なステップ、JAの支援体制についてご紹介します。

資料(図表1、図表2):
令和6年度「食料・農業・農村白書」第3節 担い手の育成・確保と多様な農業者による農業生産活動



図表2 経営耕地面積規模別に見た5年以内に農業経営を引き継ぐ後継者を確保している経営体の割合



「事業承継」と「相続」

事業承継とは、農地や機械、設備だけではなく、栽培技術や経営ノウハウ、人脈などの「目に見えない資産」を含め、経営全体を次世代に引き継ぐことを指します。これは、単なる財産の移転ではなく、農業の継続・発展を目的とするものです。

事業承継には、家族内で農業経営を引き継ぐケースのほか、第三者への譲渡、法人化など、さまざまな方法があります。しかし、実際には、国内農業のおよそ96%が家族経営が占め、親から子への事業承継は、地域農業を支える最も重要な基盤です。

事業承継は、経営者の生前から、農業経営に欠かせない「目に見えない資産」を確実に引き継ぐことが大切です。また、経営者と後継者が納得しながら進めるためには、多くの時間を要するため、早期に計画を立て、段階的に取り組むことがスムーズな経営の引き継ぎにつながります。

事業承継の種類

目に見える有形資産

物	金
● 農地 ● 農業機械 ● 農業施設	● 現金 ● 預金 ● 共済 ● 借入金

目に見えない無形資産

人	情報	顧客
● 従業員 ● 取引先 ● 地域との関係性	● 家の歴史 ● 経営理念 ● ビジネスモデル	● 顧客名簿 ● ブランド力 ● 信用

一方、相続は亡くなつた方の財産や権利などを法的に受け継ぐ手続きです。現金や不動産などの「目に見える資産」の移転が中心で、農業経営の継続は必ずしも含まれるものではありません。

準備編



事業承継、自分の気持ちは一番どれに近いですか？

まずは自分のタイプをチェック！

ついついケンカ腰タイプ

子どもが何を考えているのかわからない。話すついケンカになってしまふ

改まって親子で話をする機会がないと、お互いの考えがわからなかったり、話してもいろいろと口出しをしたくなったりして、気づくと親子でヒートアップすることも…。第三者を交えた冷静な話し合いが大切です。

まだまだやるぞ！タイプ

自分が元気なうちから継ぐ話をしててもしようがない。メリットはどこにある？

事業承継の着手は早めが肝心。親から子が受け継ぐものは、農地や資産だけではありません。長年の経験で培った技術、顧客や地域との信頼関係は、子をサポートできる余裕があるうちに時間をかけて引き継ぎましょう。

今は時期尚早！タイプ

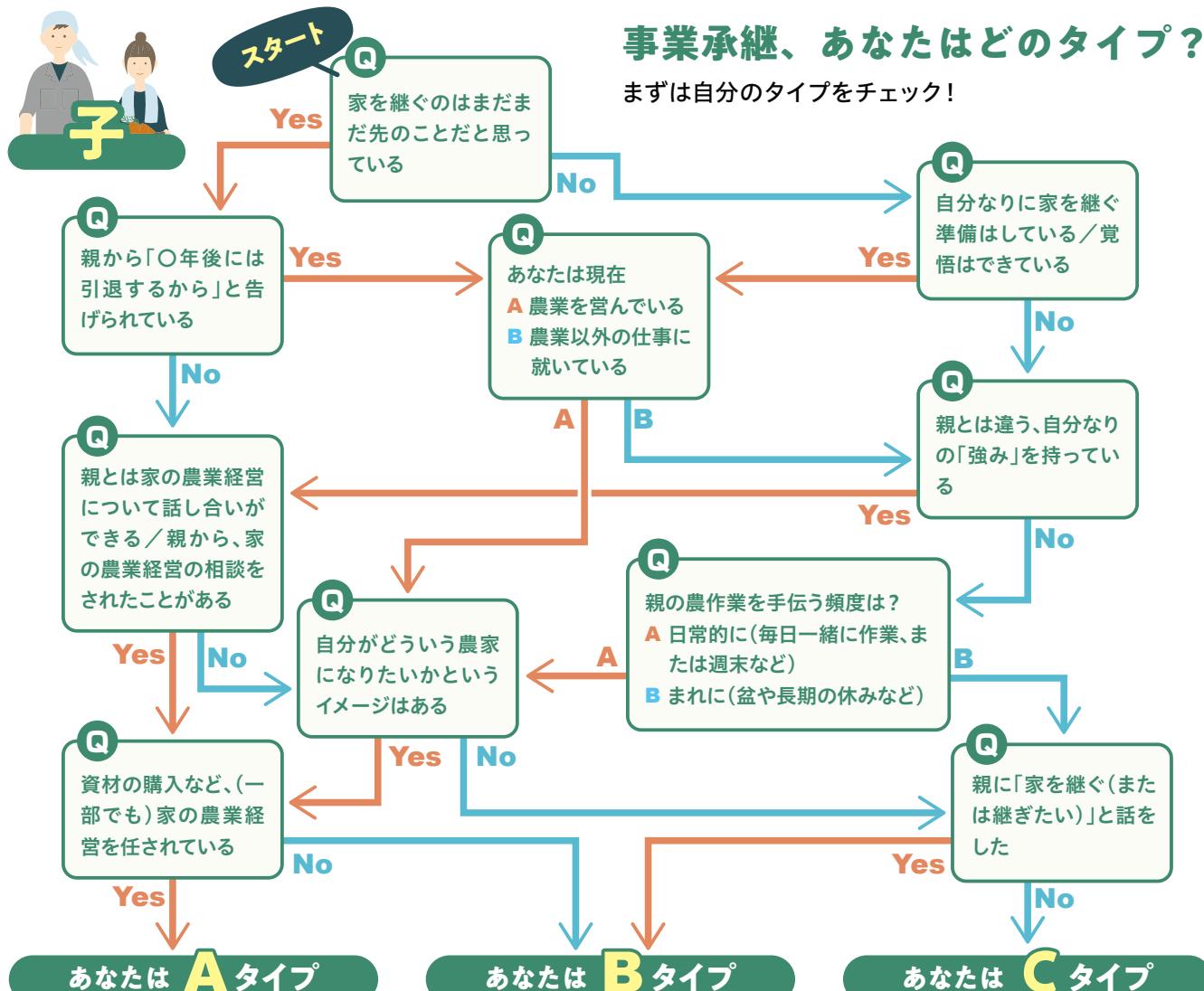
子どもから「家を継ぐ」と聞いているから安心。あとは子どもが考えることだ

親から子へ引き継ぐものは「人」「モノ」「お金」「情報」「顧客」の5項目に分かれます。子の「継ぎたい」という意欲はあっても、現実に事業承継がどこまで進んでいるか把握できていますか？進行状況をチェックしましょう。

右往左往タイプ

大事なのはわかっているけれど、具体的な手順がわからない

事業承継にあたり、6ページで紹介する5つのステップに分けて考えます。まず親子で話し合いができるルールを決め、家の農業経営の現状を把握し、その家の実情に合った事業承継計画を立てていきましょう。



参考：JA全農「事業承継ブック」

事業承継のステップ

STEP1 将来の営農について考え、話し合う

最初の一歩は、「この先も農業を続けていくためにどうするか」を考えることです。後継者候補の有無やご家族の意向を確認しながら、将来の方向性を整理しましょう。具体的な内容が決まっていなくても、早い段階から話し合いを重ねることで、思いや考えを共有しやすくなり、選択肢を広げることができます。



TACの声

いつ頃事業承継を行いたいのか、どのような形で誰に引き継ぐのか、ご家族の意向など、整理すべき点は多くあります。その反面、「家族だけでは何から話せばよいか分からない」「経営方針や将来の展望をめぐって意見が合わず、言い合いになってしまう」といった声も少なくありません。そのような場合には、**ご家族の話し合いの場にTACも同席し、組合員の皆さまのお話を丁寧に伺いながら、双方の思いを整理するお手伝いをします。**

STEP2 経営の現状を整理し、見える化する

次に、現在の経営の全体像を整理し、把握します。農地の面積や作付品目、農業機械や施設の状況、借入金やローンの有無などを確認し、経営の実態をしっかりと把握しましょう。特にお金に関わる項目は、事業承継で重要な部分です。青色申告の決算書や関連書類を手元に用意して、できるだけ正確な金額を確認するようにしましょう。



TACの声

経営の現状は、後継者だけでなく、事業承継に関わるすべての方が理解しやすい形に整理しておくことが大切です。**TACは、必要に応じて、関係機関の補助事業のご提案や、税理士・社労士など専門家の紹介などを行い、スムーズな承継をサポートします。**

解説



TACの声

當農販売部担当手対策課
米田 菜摘 職員

事業承継で最も重要なことは、経営者と後継者が十分に「話し合い」を行うことです。まずは、お互いの意思を確認し、同じ方向を向いて今後の計画を策定することが必要です。また、この話し合いを円滑に進めるためには「冷静な第三者」を交えることが有効です。この「第三者」は、①経営者・後継者どちらにも寄り添うことができること、②感情的にならず、常に冷静で中立的な立場の発言ができること、③経営者・後継者どちらとも信頼関係があり、経営体に対して理解が深いこと、という3つの条件を満たしていることが必要です。

JJAでは、「地域農業の担い手に出向く担当者」であるTACが「第三者」としての役割を担い、事業承継支援に取り組んでいます。経営者と後継者の思いや悩みに寄り添いながら、円滑な話し合いの場づくりや将来を見据えた計画づくり、関係部署と連携したサポートを通じて、次世代へと農業経営をつなぐお手伝いをしています。

事業承継で最も重要なことは、経営者と後継者が十分に「話し合い」を行うことです。まずは、お互いの意思を確認し、同じ方向を向いて今後の計画を策定することが必要です。

STEP3 資金・制度・手続き(タスク)を整理する

事業承継を進めるうえで、資金面や各種制度、手続きの整理は欠かせません。まず、STEP2でまとめた収支状況や借入金を確認し、承継後の経営が無理なく続けられるかを見通します。あわせて、機械や施設の更新時期、今後必要となる資金も整理しておくことが大切です。また、事業承継に関連する補助制度などをチェックし、活用できるものがないかを検討します。制度を上手に活用することで、後継者の負担を軽減し、経営を安定させることにつながります。



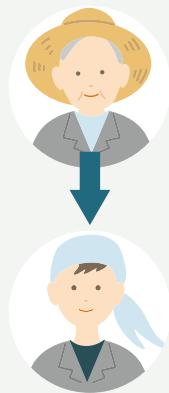
TACの声

事業承継では、農地や施設、機械の名義変更や契約の引き継ぎなどの手続きが多くありますが、すべてを一度に進めるのではなく、段階的に整理することで、承継時の混乱を防ぐことができます。また、資金計画や税金、各種制度の確認も欠かせません。TACは、関係部署と連携しながら、手続きが円滑に進むよう支援します。

STEP5

正式な承継と、その後のフォロー

事業を継承する準備が整った段階で、経営の主体を後継者へ引き継ぎます。承継後も、しばらくは前経営者が「相談役」として関わることで、後継者は安心して営農を始めることができます。



TACの声

事業承継は「ゴール」ではなく、新たな経営の「スタート」として捉えることが大切です。承継後もご希望に応じてTACが継続的に訪問し、営農や経営の相談に丁寧に対応します。

お問い合わせ

営農販売部扱い手対策課 676-3428
紫波地域営農センター 672-1582
矢巾地域営農センター 697-6211
盛岡地域営農センター 638-0011
サブセンター盛岡 656-3700

STEP4

後継者の育成と段階的な引き継ぎ

事業承継では、後継者が実際の営農や経営に関わる期間を設けることが大切です。作期の判断や作業計画の立て方、肥料・農薬などの選び方、取引先との対応などを段階的に引き継ぎ、実務を通じて経営の感覚や判断力を身につけましょう。



TACの声

事業承継で特に重要なのは「後継者の育成期間」です。日々の作業に加え、農業経営に関わる知識や判断を少しづつ引き継ぎましょう。TACは、後継者が自ら考え、判断ができるよう、営農指導や資材提案を通じて支援します。

• NEWS FILE •



購買者で賑わうセリ会場



1年の活発な取引願って初市式 和牛子牛市場初セリ

零石町のJA全農いわて中央家畜市場では1月15日、和牛子牛市場の初セリと初市式が行われました。

初セリに先立って行われたJAいわて中央の初市式には生産者など約40人が参加。JA畜産部会の佐藤昌司部会長は「皆さまの健康と、子牛・枝肉ともに価格が上昇することを願う」と力強くあいさつしました。初セリには管内から55頭、全体で228頭が上場し、最高価格は雌で770,000円、去勢で931,000円。また、平均価格は雌で634,040円、去勢で718,646円となりました。



高品質生産へ剪定方法を確認 リンゴ剪定講習会

J Aは1月21日、リンゴの剪定講習会を盛岡市猪去の園地で開き、高品質なリンゴ生産に向けた剪定技術のポイントについて学びました。

講習会には生産者ら約50人が参加。盛岡農業改良普及センターの担当者の実演をもとに、今後の作業性や日当たりの良さ、薬剤のかかりやすさなどを考慮した樹形の整え方を確認しました。担当者は「今年の花芽率は平年より低い園地も見られるため、例年以上に花芽の状態を確認しながら作業をしてほしい」と話しました。



剪定方法を確認する生産者ら



求人募集のポイントについて学ぶ参加者ら



農業求人のポイントを学ぶ 農業雇用研修会

J Aは1月26日、「求人者向け農業雇用研修会」を都南支所2階大ホールで開き、農業の働き手を必要とする個人・法人など18人が参加しました。

研修では、盛岡公共職業安定所および盛岡労働基準監督署の担当者が講師を務め、「人の集まる求人の出し方」と「雇用主の自分を守るために厳守すべきルール」をテーマに講義が行われました。参加者は、農業ならではの就労環境などを踏まえた具体例を確認しながら、求人募集のポイントや労務管理の注意点について理解を深めました。

・SDGsへの取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



佐々木組合長と「餅入り巾着」を味わう園児たち

園児たちと無病息災を願い 煙山保育園で鏡開き

矢巾町とJAは1月7日、鏡開き昼食会を煙山保育園で開きました。同園年長組の9人と高橋昌造矢巾町長、JAの佐々木雅博組合長、菅原弘範常務、JAもち米生産部会矢巾支部の佐々木隆則支部長らが参加し、昨年末に同支部が町に寄贈したヒメノモチを使った「餅入り巾着」を昼食に味わい、一年の無病息災を願いました。

佐々木支部長は「子どもたちが笑顔でお餅を食べる姿を見て元気をもらった。今年も高品質で安全安心なもち米を作りたい」と話しました。

子牛育成のポイントを学ぶ 和牛女性講習会

J Aは2月4日、和牛女性講習会を紫波町内で開き、管内の繁殖・肥育農家の女性生産者やJA担当者ら16人が参加しました。

「子牛の育成管理について」と題して、JA全農くみあい飼料株式会社北日本事業本部家畜診療所の丸田博所長が講演。体高が伸びる時期の管理や飲水が人工乳の採食量へ与える影響などについて解説しました。丸田所長は「特に冬場は子牛の栄養が足りているか、直接触れて確かめることが大切」と呼びかけました。



配合飼料の給与方法などを学ぶ参加者ら



スマホの操作手順を学ぶ参加者

アプリの使い方を学ぶ スマホ教室

J Aは1月21日、スマホ教室を盛岡支所で開き、13人が参加しました。「スマートフォンでアプリケーションを楽しもう」をテーマに、スマートフォンの活用方法を学びました。

当日は、NTTドコモショップ盛岡本宮店の担当者が講師を務め、アプリケーションの機能や追加方法、安全かどうかの見極め方などを解説。参加者は、普段使用しているスマートフォンを使って、講師に教わりながら実際に「JAバンクアプリ」をインストールし、アプリの活用方法や操作手順について理解を深めました。

J Aいわてグループ農政フォーラムを開催



「本日の学びを持ち帰り、明日の実践につなげていきたい」といさつする伊藤会長

J Aいわてグループは1月14日、盛岡市内で「JAいわてグループ農政フォーラム」を開き、県内JAの組合員や役職員ら約630人が参加しました。JAいわてグループは、持続可能な農業・農村の実現に向けた力強い農政活動を展開するため、JAいわてグループの意思結集を図ることを目的に開催しています。

開会にあたり、JA岩手県中央会の伊藤清孝会長は「JAいわてグループでは真に必要な施策の実現に向け、国や県など各方面へ要請活動を展開してきた」と話し、「引き続き、皆さまの切実な声を政策として形にするため、組織の総力をあげて取り組みたい」とあいさつしました。

JAいわてグループでは、日本農業新聞・編集局長の川島豪紀氏が「コメをめぐる動向と今後の政局について」と題し、情勢報告。基調講演では、福岡ソフトバンクホークス元監督の工藤公康氏を講師に迎え「未来を見据えた組織マネジメント、魅力ある農業へのエール」と題して、プロ野球での経験を踏まえ、人材育成の重要性や個々の力をいかす組織づくりについて



「リーダーは組織の『上』ではなく『中心』にいるという意識を持つこと」と話す工藤氏

と解説。長男で俳優の工藤阿須加さんや自身が農業に従事していることにも触れ、未来につながる魅力ある農業への期待を語りました。また、フォーラムの最後には「地域農業と暮らしを未来につなぐ」という掲げるぎない決意のもと、組合員・地域住民と一致団結し、持続可能な農業の実現と食料安全保障の確立に向け、組織の総力を挙げて邁進することなどを盛り込んだ宣言が満場一致で採択されました。

令和7年産 米検査買入状況並びに等級比率 (最終)

地域	うるち						も ち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	151,035	4,745	108	—	155,888	143,530	147,652	20,367	3,256	84	171,359	167,044
	96.9	3.0	0.1	—		108.6	86.2	11.9	1.9	0.0		102.6
矢巾	143,719	685	175	—	144,579	145,685	24,635	1,715	91	—	26,441	25,840
	99.4	0.5	0.1	—		99.2	93.2	6.5	0.3	—		102.3
都南	102,027	2,646	—	—	104,673	102,064	168	—	—	—	168	80
	97.5	2.5	—	—		102.6	100.0	—	—	—		210.0
盛岡	77,947	—	—	—	77,947	76,824	13	—	—	—	13	—
	100.0	—	—	—		101.5	100.0	—	—	—		—
JA計	474,728	8,076	283	—	483,087	468,103	172,468	22,082	3,347	84	197,981	192,964
	98.3	1.7	0.1	—		103.2	87.1	11.2	1.7	0.0		102.6

(上:30kg/個 下:比率%)



最優秀賞を受賞した
大野職員

大野職員は「JAいわて中央大玉トマト栽培の現状～害虫被害と収穫量回復への道筋～」と題して発表。管内の大玉トマトは令和5年から収穫量が大きく減少し、原因の一つに考えられるコナジラミ類の対策の効果や、土壤肥料の蓄積への今後

JAは1月9日、「令和8年新春當農販売部・生活推進部研究発表会」を紫波支所で開き、各地域の當農・生活担当職員約90人が聴講しました。各部署の代表者6人が発表し、當農販売部園芸推進課の大野智職員が最優秀賞を受賞し、JA県當農指導員研究発表会への出場を決めました。

JAは1月9日、「令和8年新春當農販売部・生活推進部研究発表会」を紫波支所で開き、各地域の當農・生活担当職員約90人が聴講しました。各部署の代表者6人が発表し、當農販売部園芸推進課の大野智職員が最優秀賞を受賞し、JA県當農指導員研究発表会への出場を決めました。

発表者と発表タイトル一覧

最優秀賞

大野 智 (當農販売部園芸推進課)

「JAいわて中央大玉トマト栽培の現状
～害虫被害と収穫量回復への道筋～」

優秀賞

中山 恵美、長谷川 修 (當農販売部生産資材課)

「来店客を増やす店舗運営と利便性の向上について」

優良賞

風間 舞乃 (生活推進部生活推進課)

「農業の未来のためにJAが出来ること」

奨励賞

佐々木 義友 (矢巾地域當農センター園芸特産課)

「りんどう高温対策技術確認試験」

大森 理史 (サブセンター盛岡米穀課)

「盛岡有機センターと堆肥の有用性」

子牛市場情報 (令和8年1月15日・中央家畜市場)

区分	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌	紫波	17	691,000	597,000	637,176	300	-28,724
	矢巾	6	684,000	543,000	641,833	286	59,333
	盛岡	6	750,000	588,000	651,667	295	-12,500
	JA計	29	750,000	543,000	641,138	296	-14,918
	市場計	101	770,000	537,000	634,040	288	-31,455
区分	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
去勢	紫波	14	931,000	680,000	748,071	334	9,492
	矢巾	6	768,000	628,000	703,000	330	-69,375
	盛岡	6	855,000	745,000	784,333	331	-11,394
	JA計	26	931,000	628,000	746,038	332	-16,199
	市場計	127	931,000	321,000	718,646	323	-40,051



當農・生活研究発表会

業務を通じて取り組んだ研究成果を発表！

の対策などを解説しました。大野職員は「生産者の皆さまの単収向上に向けて、引き続き取り組みたい」と意気込みを語りました。

県大会は、1月29日に盛岡市で行われ、大野職員は優良賞を受賞しました。

グリーンセンター 営業時間変更の お知らせ

グリーンセンターでは、下記の通り営業時間を変更いたします。皆さまのご利用をお待ちしております。

対象期間	土曜	日曜・祝日
3月14日(土) から 5月31日(日)	通常営業	午前営業
6月1日(月) から 10月31日(土)	通常営業	休み

通常営業:8時30分～17時

午前営業:8時30分～12時

※グリーン(紫波東部、盛岡東部)はすべて平日のみの営業(9時～16時)となります。

※9月20日(日)～9月23日(水)は午前営業となります。

お問い合わせ 各地域グリーンセンターまで

親子で工作にチャレンジ！ 冬休み親子工作教室



女性部員の指導のもと、自分の好きな色や模様の材料を選んで作品を作りました

JA紫波地域女性部は1月7日、紫波支所で「冬休み親子工作教室」を開きました。管内の小学生と保護者ら8組19人が参加し、家の光協会が発行する月刊誌「ちゃぐりん」に掲載された記事を参考にして「パタパタコウモリ」と「マグカップのペンポット」作りに挑戦。参加者はそれぞれ工夫を凝らして制作に取り組み、作品を完成させました。

参加した児童は「紙や布を切ったり、シールを貼るのが楽しかった」と話し、同部の鎌田都美子部長は「最近は、子どもたちが工作に触れる機会が少なくなっている。今後も取り組みを継続し、工作の楽しさを知ってもらいたい」と笑顔を見せました。

部員
募集中！

【女性部・フレッシュ部加入のご相談・お問い合わせ】
紫波地域 ☎676-3342 矢巾地域 ☎697-6211
盛岡地域 ☎656-3700



おすすめ

おむすび2個セット 880円(税込)

地域のシニアが愛情を込めて丁寧に握るおむすびと、具だくさんの豚汁、季節の自家製漬物が味わえる「あおやま街仲食堂byジーバーFOOD」。おむすびは、県産米「銀河のしづく」と、野田村の「のだ塩」を使用し、注文を受けてからふっくらと握る至福の一品。具材は、紫波町の浅沼養鶏場の新鮮卵を使用した「漬け卵黄」をはじめ、鮭や明太子、肉そぼろなど全10種類から選ぶことができます。豚汁は、カツオと昆布で丁寧に取った出汁に、盛岡杉生園と佐々長醸造の無添加味噌をブレンド。県産豚肉と地元の野菜がたっぷり入ったやさしく奥深い味わいに仕上げています。地元の恵みをふんだんに使い、毎日食べたくなるおいしさとまごころをむすぶ食堂です。



盛岡市・青山

あおやま
まちなか
街仲食堂
byジーバーFOOD

〒020-0133
盛岡市青山2丁目24-9 2F

【営業時間】
11:00～14:00
【定休日】木曜日

ジーバーFOODの
取り組み



Instagram

まちのスマイル



なかよし
ファミリー

矢巾町・煙山

むら まつ ひと し

村松 仁士さん(77)

りゅう こ

龍子さん(72)

米と小麦、野菜を栽培する専業農家の仁士さん・龍子さんご夫婦は昨年、金婚式という大きな節目を迎えました。50年を振り返り、「家庭が基本。子ども達のために頑張ってきた」と話します。几帳面な仁士さんと、おおらかな龍子さんは正反対の性格ですが、そのバランスが夫婦円満の秘訣。仁士さんは長年にわたり下煙山営農組合長として地域農業を支え、龍子さんは矢巾地域女性部員として仲間とのつながりを大切にしてきました。「これからは健康第一に、お互いにないものを補いながらポジティブに過ごしていければ」と微笑むお二人です。

シリーズ



Vol.10

「協同組合」を考える

協同組合の運営原則

第6原則 協同組合間の協同

協同組合原則の第6原則は「協同組合は、組合員に対する役割を最も効果的に果たし、協同組合運動を強化するために、地域的・全国的・広域的・国際的な仕組みを通じてお互いに協力する」と定めています。

第6原則は1966年に追加されました。それは、組合員のニーズが多様化し、単独の協同組合だけでは対応が難しくなったことや、国境を越えて活動する企業に対抗するため、協同組合同士の協同が必要になったためです。一方、地域社会では少子高齢化や自然災害、経済格差、社会的孤立などの課題が深刻化しています。

こうした中、日本では2012年の国際協同組合年を契機に分野を超えた連携が進み、2018年に協同組合連携機構(JCA)が設立されました。また、2025年の2回目の国際協同組合年では、国際機関や海外の協同組合との連携強化を目標に掲げました。今後、日本の協同組合は世界の協同組合と連携を深め、相互に学び合い、さらに可能性を広げることが期待されています。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



2025年国際協同組合年(IYC2025)に関する情報はこちらから▲



サン・フレッシュ都南さ

おでっくなんせ!

今月の店長のおすすめ!



》高橋店長《

お菓子



サン・フレッシュ都南では、和洋さまざまな加工品が充実しています。大福やだんご、ケーキ、クッキーなど、生産者のこだわりの商品が勢ぞろい!季節限定の商品も登場し、選ぶ楽しさが広がります。ご自宅用で楽しむのはもちろん、気軽な贈り物や手土産にもおすすめです!

※2/28(土)は決算棚卸のため終日休業とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

イベント情報

- 春のお彼岸フェア
3/14(土)~3/20(金・祝)
- サンサン大市・サンサンクラフト市
3/28(土)、29(日)



サン・フレッシュ都南

盛岡市下飯岡21-180 TEL 637-6801 営業時間9:00~18:00

CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

忘れられない言葉

応募締切 2月25日 必着

送り先 〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20

JAいわて中央

「JAんぶ2月号お楽しみクイズ」係

ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム ▶

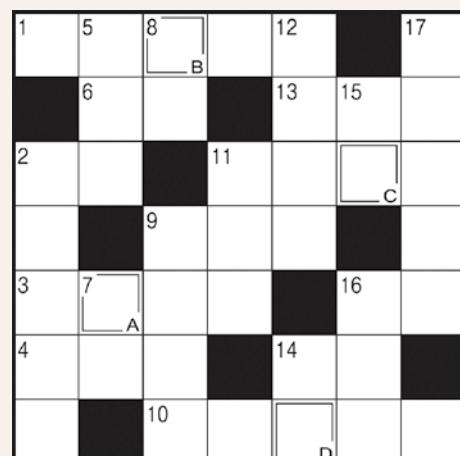
E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp



※ご記入いただいた個人情報は、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

1月号の答え
「サンガニチ」



ヨコの力ギ

- ①節分によるかぶりします
- ②働き者のイメージがある昆虫
- ③羽根つきに使う道具
- ④保育園の——に手編みの帽子を出品した
- ⑤張り上げたりひそめたり
- ⑥強い風に雪が舞います
- ⑦作業機をけん引してさまざまな農作業をこなします
- ⑧金太郎が担いでいるもの
- ⑨ドアをコン、コン
- ⑩魚へんに付と書く魚
- ⑪寒いとこりやすくなる人もいます

- ②東京にある、昔は電気街、今はポップカルチャーの街
 ⑤はたきで払うもの
 ⑦い草などで編んだ敷物
 ⑧天井や空がある方向
 ⑨長さの単位のひとつ。記号はft
 ⑪眠くなると下がってきます
 ⑫外湯めぐりで知られる兵庫県北部の温泉地
 ⑭鬼は外、——は内
 ⑮日本刀の手で握る部分
 ⑯すべては忘却の——だ
 ⑰チョコレートケーキの——をスマホで調べた

↓タテの力ギ



おたより紹介 テーマ ▶ 自分へのご褒美



自分へのご褒美は旅行。大人の休日で5日間、主に日帰りの旅です。目の前にご褒美をぶら下げ、旅行を楽しみに畑作業や家事を頑張っています。周りからはご褒美の与え過ぎと言われていますが…。

(三ツ割・S/74歳)

本を読み終えたり登山で頂上に立ったりなど、達成感を感じたときに自分を褒めてやり、おいしいものを食べたりします。

(清水町・I/77歳)

農作業等で定時に終えれば心身ともに健康を保てますが、たまに区切りの良いところまでと無理をすることがあります。そんなとき達成感を味わう自分へのご褒美として、普段飲まない高価なビールをグイっと飲みます。これが良いんです!!

(太田・T/70歳)

たまあの高級チョコレートと高級フルーツが私へのご褒美です。食べることで笑顔と元気になれます。

(上太田・S/66歳)

毎日のホッと一息に大好きなコーヒーと、大好きなチョコレートを食べる瞬間が自分へのご褒美です。

(八幡町・F/44歳)

自分で自分にご褒美をあげるとしたら、仕事が順調に終了した後に「ああ良くやった」と心で言ってひと休みすることです。もし誰かから頑張ったね、と言われると何倍ものご褒美ですね。褒賞より、思いやりの言葉があります。

(桜町・S/87歳)

◇阿部 絵美（企画管理部付）

今後のご健勝とご活躍を祈
念いたします。（ ）は前所属。

退職者

令和8年1月31日で、次の方

が退職されました。

- 4 利益相反取引の承認（営農
 ② ① ③ 利益相反取引の承認（営農

決議事項

1月定例理事会が1月29日、紫波支所で開かれ次の事案について決議されました。

理事会報告

役員手帳



生産者が希望を持てる
価格維持に期待

常務理事
菅原 弘範

今年の冷え込みは厳しく寒い季節となっており、季節性インフルエンザも例年以上に流行しました。現在は減少傾向にあるものの依然として感染者も多くありますので、体調管理には十分ご留意いただきたいと思います。

さて、令和7年産米は、昨今の猛暑に見舞われて収穫時期に米不足の懸念が広がり業者がコメの確保に走ったこともあり、JAにおいても集荷対策のために概算金を大幅に引き上げました。生産者の皆さんのご協力により、出荷契約以上に集荷できましたことに深く感謝を申し上げます。これにより、生産者の皆さんにとっても次年度以降の再生産への意欲も高まったのではないかと感じています。

しかしながら、コメの価格の高騰により販売店での小売価格が高止まりし、売れ行きが例年以上に鈍っていることや令和7年産米の収穫量の増加、外国産米の輸入も大幅に増加していることもあり、今年産以降の価格動向も気になる状況となっています。

コメの価格については、令和8年産以降も生産者の皆さんが再生産に意欲の持てる販売価格になるとともに、消費者の皆さんにもご理解いただける価格に落ち着き、安定した価格帯となることを期待しています。

INFORMATION

金融窓口での通帳コメント入力サービス終了のお知らせ

当JAでは、お客様の窓口での待ち時間短縮等を目的として、通帳コメント入力サービスの取り扱いを終了させていただくことといたしました。取り扱い終了に伴い、お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 入力サービス終了日 令和8年2月27日(金)

2. 終了するサービス内容

個人の通帳をお持ちのお客様が、普通貯金(貯蓄貯金を含む)の入金・出金伝票に記入した文字等を通帳へ表示するサービス

※給料・年金や公共料金等の自動引落処理のコメントは、引き続き表示されます。

※窓口設置の SmileNavi またはQR伝票作成ツール

(<https://www.jabank.org/qr-tool/>)をご利用いただくことで、引き続きコメントの表示が可能です。



詳しくは、最寄りのJA金融窓口にお問い合わせください

金融各種手数料改定のお知らせ

当JAでは、下記のとおり手数料を改定させていただきました。また、振込を訂正する場合の、振込訂正手数料を新設いたします。

今後もより一層のサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

改定日 令和8年3月1日 **※赤字が変更・新設箇所になります。(全て税込表示)**

為替手数料						
振込手数料	窓口 (電信扱・文書扱)	振込金額	当JA内	系統金融機関あて (他JA・信連・農中等)	他行あて	
		3万円未満	無料	330円	660円	
その他 諸手数料			振込組戻料		1,100円	
			振込訂正手数料		1,100円	

定期自動送金手数料	振込金額	当JA内	系統金融機関あて	他行あて
	3万円以上	無料	440円	770円
		3万円未満	無料	220円
				550円

両替手数料		現金精査手数料	
両替枚数	手数料額	お持込み金額の合計枚数	手数料額
50枚以下	無料	50枚以下	無料
51枚~500枚	550円	51枚~500枚	550円
501枚~1,000枚	1,100円	501枚~1,000枚	1,100円
以降500枚ごとに550円を加算		以降500枚ごとに550円を加算	

※硬貨のみを対象とし、紙幣による入金の場合は無料といたします

1. 職員による集配金依頼分も該当といたします
2. 受付時に複数の両替を依頼される場合(複数枚の両替票)は、合計枚数を手数料の対象といたします
3. 両替枚数は、「お客様のご持参枚数合計」または「お客様への交付枚数合計」のいずれか多い方の枚数といたします
4. 出金の場合の金種指定も両替手数料の対象といたします
5. 紙幣の高額金種への両替(千円券→万円券、5千円券→万円券)は無料といたします

• This month's recipe •

新鮮食材で
楽しく
クッキング
今月のレシピ
177杯目



ニラチヂミ (韓国風お好み焼き)

• 材料(1枚・2人分) •

ニラ	1束
ニンジン	1/4本
タマネギ	1/4個
卵	1個
片栗粉	大さじ3
薄力粉	大さじ2
溶けるチーズ	30g
塩	小さじ1/2
砂糖	小さじ1/2
水	60ml
ごま油	大さじ1+大さじ1

• 作り方 •

- 卵をボウルに割り入れる。ニラは長さ3cm、ニンジンは細切り、タマネギは薄くスライスし、ごま油以外の材料を入れて混ぜる
- フライパンにごま油(大さじ1)を引いて熱し、①の生地を入れてスプーンの背などで薄く延ばす。片面がカリッとしてきたらひっくり返し、全体をギュッと押す。ごま油(大さじ1)をぐるっと回しかけて焼き、再度ひっくり返しカリッと仕上げる。両面においしそうな焦げ目が付いたら出来上がり

発行／岩手中央農業協同組合 〒028-3453 岩手県紫波郡紫波町土館字沖田98-20
編集／企画管理部企画課 ☎(019)673-7480 印刷／川嶋印刷株式会社

編集後記



佐々木

取材でおじやました「あおやま街仲食堂byジーバーFOOD」。「ジーバーFOOD」には、地元のジーちゃんバーちゃんが楽しく寄り添い営む食堂、という意味に加え、地場産品にこだわり提供する、という想いも込められているそうです。地元食材を使って、手際よく料理するバーちゃんたち。食べることは人と人をつなぐことを改めて感じた場所でした。



小野寺

事業承継の在り方は家族ごとに三者三様、あるいはそれ以上に多様です。「これが正解」という共通の道筋がなく、その難しさに戸惑うことも少なくありません。だからこそ、時間をかけて対話を重ね、計画的に準備を進めていくことが重要です。本特集が皆さんの取り組みの後押しとなり、それぞれの“最適解”を導き出すきっかけになれば幸いです。